

まちのわだい

二部のしいたけのすばらしさを伝えたい！

二部小 オリジナル体操が完成・CM放送へ

1月19日（木）、二部小学校で3年生8人による「にぶっこしいたけ体操」のCM撮影が行われました。この「にぶっこしいたけ体操」は、総合的な学習の時間に二部の特産物であるしいたけについて学んだ3年生が、「二部のしいたけのすばらしさをたくさんの人に伝えたい」と、作詞作曲から振り付けまでオリジナルで考え、CM放送を企画したものです。

当日は、伯耆町有線テレビジョン放送のスタッフに協力してもらいながら、校庭や学校横のしいたけ園でダンスの撮影や歌の収録を行いました。

撮影を終えた児童は「二部のしいたけは肉厚でとても美味しいです。この体操がテレビで流れることで、二部地区以外のたくさんの人にも二部のしいたけの良さを知ってほしいです」と話しました。

このしいたけ体操は、伯耆町有線テレビジョン放送のチャンネルで2月1日から1か月程度、CM放送を行います。



二部しいたけを全町にアピール

空き家を地域の お荷物から資源へ

空き家活用講演会を開催

二部地区活性化推進機構（以下、二部活）は2月1日（水）、二部公民館で空き家活用講演会を開催しました。いんしゅう鹿野まちづくり協議会の小林事務局長さんを講師に迎え、「空き家を地域のお荷物から資源へ」という演題でお話しいただきました。過疎化や高齢化が進む中、二部地区においても空き家対策が大きな課題になってきていることからこの講演会を開催。今回は空き家活用の視点から、若者を中心に100人を超える移住者を受け入れて地域活性化に取り組んでいる鹿野の実践を聞きました。

二部活会長は「『空き家をお持ちの方』と『空き家を探しの方』双方の意見をよく聞き、行政や関係機関、自治会や関係者等と連携しながら活用方法を見出しにくいことの難さを学んだ」と話しました。



様々な空き家活用の取組事例を紹介

身近な大人との交流を通して 挑戦する力を

中学生トークプログラムを実施

鳥取県教育委員会、伯耆町教育委員会は2月6日（月）、溝口公民館で溝口中学校2年生を対象に、地域の人や大學生と交流する「中学生トークプログラム（CHAMPプログラム）」を実施しました。

このプログラムは、中学生が地域の大人や大學生に出会う機会を作り（CHANCE）、働き方や生き方などについて話し合うことを通じて、多様な価値観と出会うことで自分を変え（CHANGE）、少し先の目標を持って挑戦する（CHALLENGE）態度を養うことを目的として、伯耆町で毎年実施されています。

当日は溝口中学校2年生、島根大學生、地域住民など合わせて約50名が参加し、6〜8名ずつのグループに分かれて「人から言われた、自分のいいところは？」「どんな大人になりたい？」などのテーマで自由に話し合いました。この活動を終えた中学生は、「普段大人の方と話す機会がないのでとてもいい時間だった」「将来やりたいことが決まっておらず不安な気持ちもあったが、まずは自分の好きなことから世界を広げてみようと思った」などと振り返りました。



「自分のいいところ」って何だろう